

●中村文庫● ソフィアセンター(柏崎市立図書館)

中村文庫は、中村藤八翁が 40 年間にわたって蒐集した、柏崎刈羽郡関係の古文書、遺物、遺墨等 3000 点を、大正 7 年 12 月に図書館に寄贈した資料である。この中には、市指定文化財貞心尼筆の「蓮の露(はちすのつゆ)」のほか、貞心尼関係資料が含まれている。一部は柏崎市立博物館とふるさと人物館に常設展示されている。寄贈者の中村藤八翁は、嘉永 6 年 8 月、刈羽郡高田村(現柏崎市上方)に生まれ、柏崎物産会を設立、町会議員、郡会議員となり、文庫寄贈後の大正 9 年 3 月に死去した。



●中村文庫の貞心尼関係資料● ソフィアセンター(柏崎市立図書館)



中村文庫中の貞心尼関係資料を列举すると、貞心尼筆の「蓮の露」、「やけのの一草」、「柏崎閻魔堂の記」、「山田静里翁は…」、「関矢大之ぬしの…」、「極楽寺にて…」、「あととは人…」、「月前時島」、山田静里筆の「不求庵の記」、「貞心尼病中図」(静誉画の模写)、文書「中村藤八智譲尼聞き取り」、「浄業余事」等。

この資料は過去数回の展示目録に収録されていると共に、ハイビジョン「蓮の露一海を愛した貞心尼」(8分34秒)、「貞心尼一図書館所蔵遺墨」(18分)で観ることができる。

●「蓮の露(はちすのつゆ)」● ソフィアセンター(柏崎市立図書館)

貞心尼自筆の歌集。体裁は、縦 24 センチ、横 16.5 センチで和紙を袋とじにした冊子本である。表紙と裏表紙を除いて 50 丁・100 ページからなっている。内容は良寛の略伝、良寛歌集、良寛・貞心唱和の歌と続き、このあとに不求庵(ふぐあん)のここと、山田静里(やまだせいり)翁のここと、良寛禅師戒語、蓮の露の命名のこことなどが、全て貞心尼の筆によって書かれている。天保 6 年 5 月に完成。良寛没後 4 年目に当たる。中村藤八翁が蒐集した「中村文庫」中にあり、昭和 50 年に市の指定文化財となる。※閲覧には数種類出版されている複製本が利用されている。また、ビデオ 2 本で視聴できる。

●「蓮の露」歌碑● ソフィアセンター(柏崎市立図書館庭)

故中村昭三氏が図書館の竣工記念に建立寄贈した歌碑。碑高 200 センチ、幅 170 センチの自然石に、貞心尼筆の「蓮の露」から、貞心尼と良寛禅師の唱和の歌が刻まれている。

※ かつこ内は図書館で補記したもの

者じめて安ひ見奉利て 貞	(はじめてあひみたてまつりて)
き美尔閑久安悲見留許東能有礼しさも	(きみにかくあひみることのうれしさも)
未堂散めや良ぬ由め可東處おも布	まださめやらぬゆめかとぞおもふ)
御可へし 師	
由め能世に閑川ま東呂見天由めをま多	(ゆめのよにかつまどろみてゆめをまた)
閑当留毛由面も所礼可未耳へ	かたるもゆめもそれがまにまに)

碑裏面には次のように記されている

蓮の露 歌碑

晩年の良寛と貞心尼の初相見から 4 年の魂の交流そして示寂を、みとるまでをよみかわした『はちすの露』は、二人の誠の玉の輝きである初の良寛歌集で、貞心尼のこの遺墨は中村藤八により世に伝えられ、中村文庫に保存される

平成 8 年 4 月 1 日

中村昭三



●「托鉢貞心尼像」● ソフィアセンター(柏崎市立図書館庭)

柏崎良寛貞心会(田村甚三郎会長)が、貞心尼生誕 200 年を記念し、市内外 700 余人の賛同を得て、平成 9 年 11 月 13 日に建立した立像。制作は、富山県高岡市の石黒春海氏のイメージ画により、夫の孫七氏が青銅鑄造したものである。台高 60 センチ、像高 180 センチ。題字は市内の書家白倉南雀氏の揮毫。同所に向かい合って建てられている「蓮の露歌碑」は、貞心尼の墓地洞雲寺に向かい、この貞心尼像は、遠く良寛の地、出雲崎を望んでいる。

●釈迦堂(跡)● 東本町1丁目16番

貞心尼が 10 年間住んでいたお堂跡。貞心尼は、天保 12 年 44 歳の時洞雲寺第 25 世住職泰禅和尚について得度し、この釈迦堂の庵主になったが、嘉永 4 年 54 歳の時、長岡へ父の墓参りに出かけた留守中に、柏崎大火に遭いこの堂を焼失してしまう。「来て見ればしらぬ野はらとやけはてて 立ちよるかげもなきぞかなしき」(貞心尼筆「焼野のひとくさ」柏崎市立図書館所蔵より)現在この地は、貞心尼を慕う有志によって昭和 57 年 10 月に「良寛・貞心尼唱和の歌碑」が建てられ、繁華街裏の小さな憩いの場となっている。



●不求庵(跡)● 西本町1丁目10番14号あたり

貞心尼が嘉永 4 年 54 歳のころから、明治 5 年 75 歳で亡くなるまで、終生のすみかとなつた庵。貞心尼はそれまで、茶毘小路(だびこうじ)の釈迦堂(東本町柏崎病院前)に住んでいたが、嘉永 4 年の柏崎大火で堂を失う。しかし、貞心尼の歌仲間である町の名家＝山田静里翁等のはからいで、不求庵(ふぐあん)が建てられた。場所は広小路真光寺(若葉町極楽寺末寺)の境内にあったが、その後の大火で焼失し、今は寺もなく拡幅された道路脇に「貞心尼不求庵跡」の標柱と案内板によって知るのみである。



●洞雲寺● 常盤台5番1号



曹洞宗の寺院で、宝竜山洞雲寺(とうろんじ)。貞心尼は、この洞雲寺第 25 世の住職であった泰禅和尚(たいぜんおしょう)から、天保 12 年 44 歳の時正式に得度を受けた。泰禅和尚は、鳥屋中沢の出身、貞心尼より 2 歳年長で心竜・眠竜尼の兄弟である。心竜・眠竜姉妹は、貞心尼が仏門に入った時の最初の師匠で、番神閻王寺(ばんじんえんのうじ)の庵主であった。夏なお涼しき参道から参門をくぐると、左手裏山墓地登り口に良寛・貞心唱和の歌碑があり、丘の上に貞心尼の墓が安置されている。

●貞心尼墓● 洞雲寺 常盤台5番1号

曹洞宗洞雲寺(とうろんじ)の裏の丘の上に安置されている。墓碑中央に「孝室貞心比丘尼墳」右に貞心尼辞世の歌、左に「乾堂孝順比丘尼 謙外智譲比丘尼」と弟子の尼僧の名が刻されている。良寛禅師の病氣看病の際、貞心尼が「くるに似てかえるに似たりおきつ波」と歌いかけたところ良寛禅師が「あきらかりけり君がことのは」と下の句をついだ事があった。この下の句を「立居は風の吹くにまかせて」と置きかえて辞世とした貞心尼は、良寛禅師の面影を終生抱き続けていたといえる。

「来るに似て 帰るに似たり おきつ波
立ち居は風の 吹くにまかせて」



貞心尼歌碑・史跡

●歌碑「良寛・貞心尼唱和の歌」● 洞雲寺 常盤台5番1号

貞心尼のお墓がある洞雲寺境内にある歌碑。

歌は「恋学門妨 貞心 いかにかせむまなびの道も恋ぐさの しげりていまはふみ見るもうし 良寛 いかにかせんうしにあせずとおもひしも恋のおもにを今はつみけり」。

良寛の歌は、牛が汗をかくほど学問をしようと思ったのに、今は恋の重荷を背負っている、の意。建立は平成3年11月4日。高さ約2メートルの千種石にやげん彫りで仕上げられている。書は、建碑者故中村昭三氏の所有で2首とも貞心尼の筆。中村昭三氏は、柏崎市立図書館中村文庫の寄贈者中村藤八翁の孫にあたり、詩人中村千恵子女史は令妹である。



●極楽寺● 若葉町2番1号

浄土宗の寺院。貞心尼が晩年過ごした不求庵は、極楽寺末寺の真光寺境内の一隅にあった。不求庵時代貞心庵は、極楽寺第28世静誉(じょうよ)上人からいろいろと援助を受けている。静誉上人は、照阿(しょうあ)・英舜(えいしゆん)とも号し、和歌・漢詩に精通し、画に優れていた。年は貞心尼よりやや若く、明治13年に72歳で遷化されている。当寺には、貞心尼筆の和歌560種余りを載せる、歌集「もしほ草」をはじめ、上人宛の書簡等数々の貞心尼の遺墨が保存されていると共に、上人が描いた、貞心尼晩年の病中の肖像画が今も所蔵されている。

●閻王寺(跡)● 番神1丁目1番15号の番神公会堂付近

貞心尼剃髪の地。貞心尼は幼名をマスといい、長岡で生まれる。17歳の時、医師と結婚するが5年にして離縁し、実家に帰る。文政3年23歳の時、下宿新出(しもじゆくしで=番神町)にあった西光寺の末寺の閻王寺(えんのうじ)という尼寺で、心竜・眠竜尼姉妹の弟子となり、仏門に入り剃髪する。マスが貞心尼として新しい人生を送る出発点となる。ここで29歳まで修行を積み、長岡の福島閻魔堂へ移るが、44歳の時再び柏崎の地にもどり永住する。今、閻王寺の昔をしのぶなにもものもないが、貞心尼の愛したいさざ川のせせらぎと日本海の風光は変わらない。



●駅通り●

柏崎駅北口からの日本海に抜ける間にある駅仲商店街と、ニコニコ商店街通りには、貞心尼の歌碑が次々と立ち並んでいる。国土庁の地域個性形事業で歩道が整備された後、地元の要望により、県が貞心尼歌碑の建立等を実施した事業で、平成5年12月には8基が、その後4基が建てられた。歌は「もしほ草」、「やけののー草」、「蓮の露」から選んでいる。8基は「貞心尼の歌碑解説書」に、12基の写真は「良寛」第27号に収録されている。



◆柏崎市立図書館ホームページ◆

<http://www.city.kashiwazaki.lg.jp/kyoiku/bunka/tosho>

ホームページの項目「柏崎の人物と関係資料」中の「貞心尼(ていしんに)」に掲載している

■貞心尼歌碑・史跡 ■史跡案内図 をもとに本パンフレットを作成しました。

ホームページには以下の情報も掲載されています。ぜひご覧ください。

■貞心尼 ■貞心尼年譜 ■図書館所蔵 貞心尼関係筆跡■貞心尼関係資料一覧



- 1・・・ソフィアセンター（中村文庫・蓮の露・歌碑・貞心尼像）
- 2・・・釈迦堂跡
- 3・・・駅歌碑のある道
- 4・・・不求庵跡
- 5・・・極楽寺
- 6・・・洞雲寺
- 7・・・閻王寺跡

柏崎市立図書館